

## ESGをめぐり北米社会科教師招聘プログラムを実施

### —経済広報センター北米社会科教師招聘プログラム—

2023年6月19日～27日

参加者： ルシール・フィネガン 社会科教師（米ニュージャージー州）  
クリスタル・ジョンソン 社会科教師（米ミネソタ州）  
ブルース・マイズ 社会科教師（米ミシシッピ州）  
リサ・スミス 社会科教師（米テキサス州）  
ルーク・サンダーマイアー 社会科教師（米オハイオ州）

経済広報センターでは1980年以来、国際相互理解促進の観点から、北米の社会科教師を招聘し、わが国の有識者、政府、企業、学校関係者らとの交流機会を設けてきた。2023年度は、6月19日から27日にかけて「ESG（環境・社会・ガバナンス）をめぐる日本の現状」をテーマに、5人の教師を招聘した。

一行は、日本の経済・社会・教育・環境問題、日米関係等に関し有識者と意見交換し、関係各所を視察した。

企業訪問では、BIPROGY、セブン-イレブン・ジャパン、森ビル、花王、MS&ADインシュアランスグループホールディングスにおいて、ESGやダイバーシティ&インクルージョン（D&I）戦略等について説明を聴くとともに懇談した。学校訪問では、東京都立両国高等学校・附属中学校と北鎌倉女子学園中学校高等学校において、模擬授業等を行った。さらに、福田康夫元内閣総理大臣を表敬訪問し、日米関係や米国の役割等に関する講話を聴いた。

最終日には、「ESG経営の潮流と日本企業の課題～北米社会科教師が見た日本の現状」と題するセミナーを開催した。冒頭、白井さゆり慶應義塾大学総合政策学部教授が、ESG経営の潮流をテーマに講演。続いて、参加教師が「北米における環境意識・環境教育の変化」についてそれぞれ発表の後、ESGをめぐる日米の違いなどについてパネルディスカッションを行った。

参加教師は、帰国後、それぞれの授業やコミュニティー活動等において、同プログラムで得た知見や経験を活かすことが期待されている。

以上



セブン-イレブン・ジャパン  
訪問の様様

---

一般財団法人

# 経済広報センター

国際広報部

〒100-0004 東京都千代田区大手町 1-3-2 経団連会館 19 階

電話 : 03-6741-0031

<https://www.kkc.or.jp/>

<https://en.kkc.or.jp/>

※本稿の無断転載を禁じます。